

## 人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（血液など）や診療情報（カルテの情報）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

<p>試料・情報の利用 目的及び利用方 法</p>	<p>研究の名称 精漿・精巣内における L 体および D 体アミノ酸の定量</p> <p>研究の対象 当院泌尿器科に 2011 年 1 月から 2015 年 9 月までに受診した男性不妊患者 100 名</p> <p>研究の目的 造精機能障害患者、特に減数分裂以降の精母細胞、精子細胞において D 体アミノ酸の欠乏が示唆されています。本研究は、ヒト男性不妊症患者における精漿・精巣内における L 体および D 体アミノ酸の定量を行い、これらが治療の原因検索および治療指針の検討に役立つかを検討するものです。</p> <p>研究の期間 2016 年 1 月から 2021 年 5 月まで 他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ試料・情報を提供しません。</p>
<p>利用し、又は提供 する試料・情報の 項目</p>	<p>研究に使用する試料・情報：</p> <p>(1) 精漿 (2) 血液 (3) 精巣組織（同意を得られた精巣生検施行患者のみ）</p>
<p>利用する者の範 囲</p>	<p>研究責任者 浜松医科大学 医学部泌尿器科学講座 杉山貴之</p>
<p>試料・情報の管理 について責任を 有する者の氏名 又は名称</p>	<p>研究責任者 浜松医科大学 医学部泌尿器科学講座 杉山貴之</p>
<p>試料・情報の利用 又は他の研究機 関への提供の停</p>	<p>あなたの試料または情報を研究に使用することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法</p>

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

止（受付方法含む）	は、問い合わせ先に記載のある電話、FAXもしくはメールでお願いします。
資料の入手または閲覧	この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。
情報の開示	<p>あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。</p> <p>また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示致しません。</p>
問い合わせ先	<p>〒431-3192          浜松市東区半田山一丁目20番1号          浜松医科大学医学部附属病院          診療科：泌尿器科          担当者：杉山貴之          TEL：053-435-2306 FAX：053-435-2305          E-mail：taka0311@hama-med.ac.jp</p>